学校番号	３０２０B

平成３１年度　　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ②	単位数	２単位	年次	２年次(後期)
使用教科書	高校生の音楽２　　音楽の友社						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽の表現の基本である「歌う」ことを、声や楽器を用いて行い、自己を表現する喜びを味わいます。
・歌唱・器楽・創作・鑑賞を総合的に学習し、また実技の発表を自信をもってできる能力を高めるとともに、楽曲を分析し、理論的・歴史的背景を探ります。
・学習の到達度は実技試験や課題等の実施で評価します。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を深め、
個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習において個に応じた学習を充実し、感性的な認識を一層深めていこうとする。	音楽を形作っている要素と、それらの働きを理解しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、様々な表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素と、それらの働きを理解し、楽曲のよさや美しさなどを、十分に味わいながら鑑賞し、自己の感じ方や考え方を深めていくようにする。
評価方法	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取る	【歌唱】 早春賦 春への憧れ 春の日の花と輝く Memory Ombra mai fu 【音楽理論】	○	○	○		a. 曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b. 旋律・リズムなど音楽を形作っている要素を理解し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、どの様に音楽が構成されているかを考える。 また、音楽を形作っている要素とそれらの働きを理解し、イメージを持って創造的に音楽を作る c. 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 課題プリント ノート 実技テスト
後期	音楽の成立ちや発展を知ることにより深める	【西洋音楽史】 古代から ロマン派まで	○			○	a. 我が国及び諸外国の様々な音楽や音楽文化を、広い視野からとらえ、理解を深める。さらに、旋律・リズム・音色など、音楽を形作っている要素を理解し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、どのように音楽が成立・展開・発展をしていったかを考える。 d. 楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者による表現の特徴について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 課題プリント ノート 実技テスト

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
　　c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa，b，cの３観点で、「鑑賞」の分野はa，dの２観点で評価する。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。